

小浜市中小企業景況調査報告書 (令和6年7月～9月期)

令和6年11月
小浜市産業部商工振興課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

中小企業の経営指針の一助として、市内中小企業の景気動向の実態を把握し、中小企業者等に対して地域経済の情報提供を図るとともに、市の中小企業施策の参考とすることを目的とする。

(2) 調査の方法

- ①調査期間 : 令和6年11月1日(金)～令和6年11月20日(水)
- ②調査基準日 : 令和6年9月30日(月)
- ③調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- ④調査対象 : 調査協力の確認の得られた市内中小企業者(105事業所)
- ⑤調査項目 : 売上高、採算、来店者数、従業員数、業況、資金繰り等

(3) 回収状況

①調査対象企業の内訳

業種	企業数	構成比
製造業	23	22%
建設業	20	19%
卸売業・小売業	36	34%
宿泊業・飲食サービス業	11	11%
その他	15	14%
全体	105	—

②回答状況

業種	企業数	回答率
製造業	16	70%
建設業	11	55%
卸売業・小売業	24	67%
宿泊業・飲食サービス業	5	45%
その他	10	67%
全体	66	63%

※その他とは、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、複合サービス業等を指す。

(4) DIの算出方法

- 手順① 各企業に対し、景況の現状等について3段階で評価してもらい、評価ごとの回答数を算出する
- 手順② 回答数全体に占める評価ごとの回答割合(%)を算出する
- 手順③ 上記②で算出した割合(%)に、下記表に応じた点数を乗じ、それらを合算する

評価	増加/好転/不足	不変	減少/悪化/過剰
点数	1	0.5	0

《例》“増加”と回答した企業が5社、“不変”と回答した企業が10社、“減少”と回答した企業が5社の場合のDI値について

手順①および②

増加の回答割合：5/20=25%、不変の回答割合：10/20=50%、減少の回答割合：5/20=25%





手順③

$$(25\% \times 1 \text{ ポイント}) + (50\% \times 0.5 \text{ ポイント}) + (25\% \times 0 \text{ ポイント}) = 5.0$$

⇒ DIは5.0である































(5) 景況天気について

前年同期比の売上高D Iと採算D Iの平均値（以下、「景況天気図D I」という。）を算出し、以下のとおり表示した。また、先行き予想についても、先行き予想売上高D Iと予想採算D Iの平均値を算出し、以下のとおり表示した。

D Iの平均値	100～75.1	75.0～50.1	50.0～25.1	25.0～0
天気	 快晴	 晴れ	 くもり	 雨

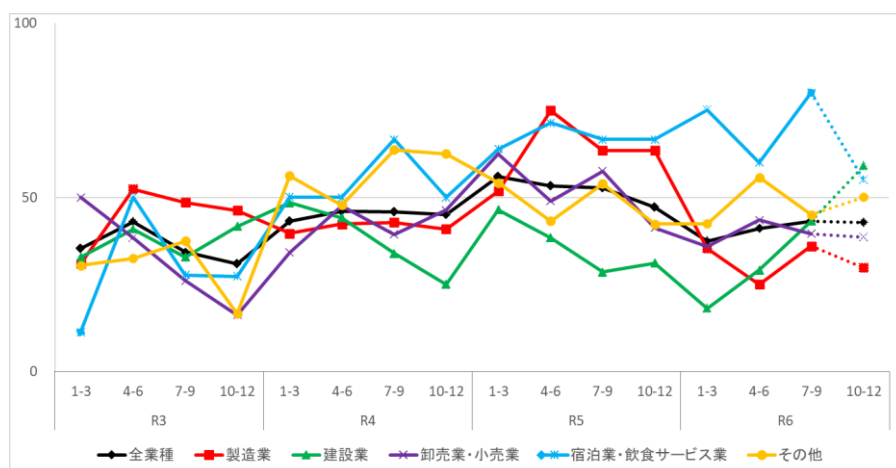
2 調査の結果

(1) 天気図でみる総合景況判断

業種／期	R5. 10-12	R6. 1-3	R6. 4-6	R6. 7-9	先行き (R6. 10-12)
全業種					
製造業					
建設業					
卸売業・小売業					
宿泊業・飲食サービス業					
その他					

(2) D Iによる景況動向

総合景況判断（売上高D Iと採算D Iの平均値）＜前年同期比＞

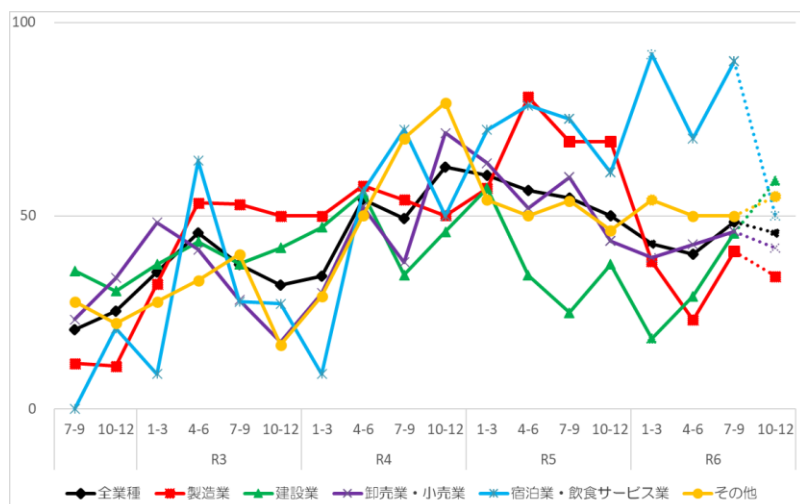


・総合景況判断は、全業種で 43.2 と前期より 2.1 ポイント上昇した。先行きについては、微減の見通し。

・業種別にみると、製造業、建設業、宿泊業・飲食サービス業で上昇、卸売業・小売業、その他で減少となった。上昇幅が一番大きかったのは、宿泊業・飲食サービス業で 20.0 ポイントの上昇となった。一方、減少幅が一番大きかったのは、その他の業種で 10.8 ポイントの減少となった。

・先行きは、建設業、その他で上昇、製造業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業で減少の見通し。

売上高DI <前年同期比>

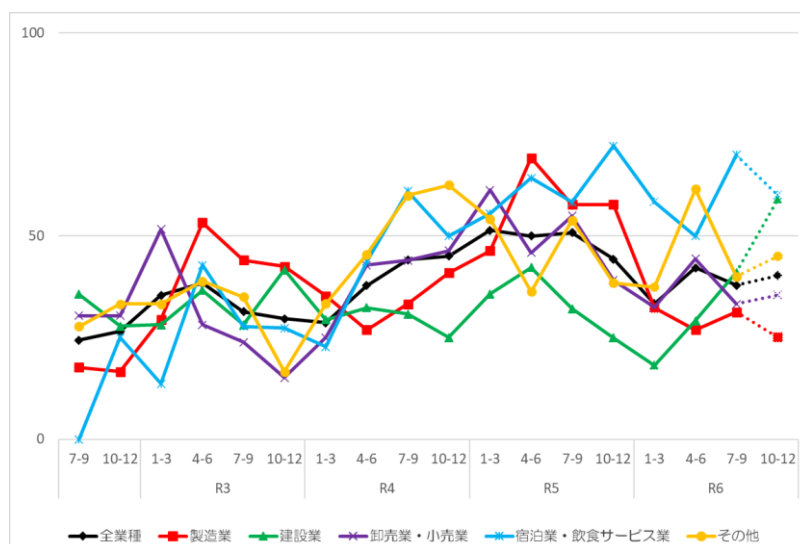


・売上高DIは、全業種で48.5と前期より8.4ポイント上昇した。先行きは、現状より3.0ポイント減少の見通し。

・業種別にみると、全業種において上昇となった。上昇幅が一番大きかったのは、宿泊業・飲食サービス業で20.0ポイントの上昇となった。

・先行きは、建設業、その他の業種を除く全ての業種で減少の見通し。

採算DI <前年同期比>

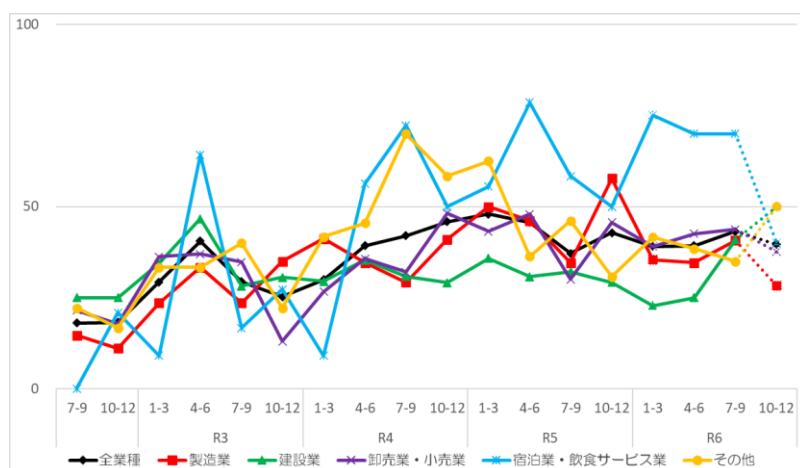


・採算DIは、全業種で37.9と前期より4.3ポイント減少した。先行きは、現状より2.3ポイント上昇の見通し。

・業種別にみると、製造業、建設業、宿泊業・飲食サービス業で上昇、卸売業・小売業、その他の業種で減少となった。上昇幅が一番大きかったのは、宿泊業・飲食サービス業で20.0ポイントの上昇となった。一方で、減少幅が一番大きかったのは、その他の業種で21.6ポイントの減少となった。

・先行きは、製造業、宿泊業・飲食サービス業において減少の見通し。

来店者数（利用者数）DI <前年同期比>

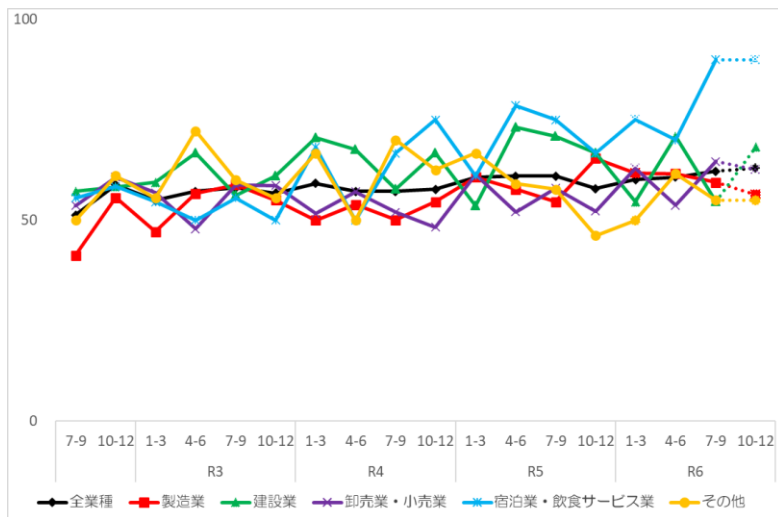


・来店者（利用者数）DIは、全業種で43.2と前期より4.0ポイント上昇した。先行きは、現状より3.7ポイント減少の見通し。

・業種別にみると、製造業、建設業、卸売業・小売業で上昇、宿泊業・飲食サービス業で横ばい、その他の業種で3.5ポイントの減少となった。上昇幅が一番大きかったのは、建設業で16.0ポイントの上昇となった。

・先行きは、建設業、その他を除く業種で減少の見通し。

従業員DI <前年同期比>

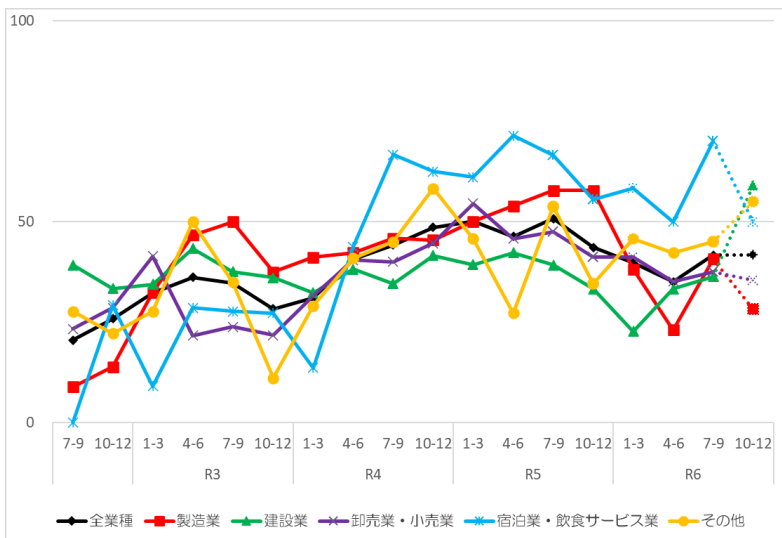


・従業員DIは、全業種で 62.9 と前期より 1.5 ポイント上昇した。先行きは現状より 0.7 ポイント上昇の見通し。

・業種別にみると、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業で上昇、製造業、建設業、その他の業種で減少となった。上昇幅が一番大きかったのは、宿泊業・飲食サービス業で 20.0 ポイントの上昇となった。一方で、減少幅が一番大きかったのは、建設業で 16.3 ポイントの減少となった。

・先行きは、建設業で上昇、宿泊業・飲食サービス業、その他の業種で横ばい、製造業、卸売業・小売業の業種で減少の見通し。

業況DI <前年同期比>

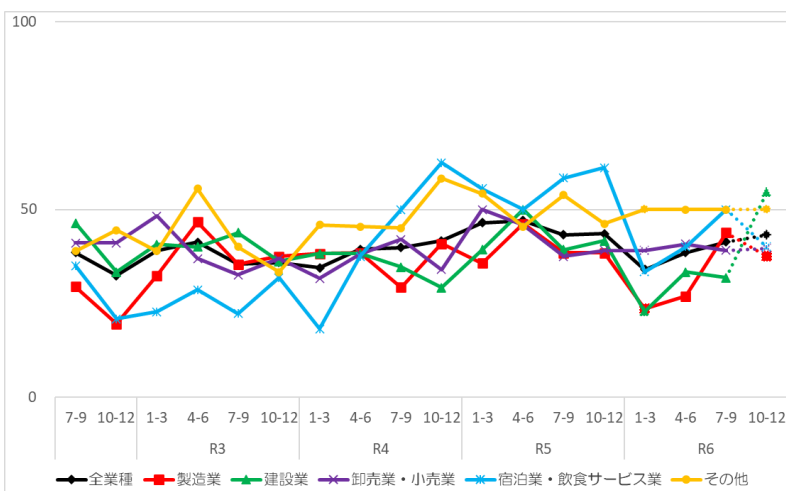


・業況DIは、全業種で 41.7 と前期より 4.8 ポイント上昇した。先行きは、横ばいの見通し。

・業種別にみると、全業種で上昇となった。上昇幅が一番大きかったのは、宿泊業・飲食サービス業で 20.0 ポイントの上昇となった。

・先行きは、建設業、その他の業種で上昇、製造業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業で減少の見通し。

資金繰りDI <前年同期比>



・資金繰りDIは、全業種で 41.4 と前期より 2.8 ポイント上昇した。先行きは、現状より 1.8 ポイント上昇の見通し。

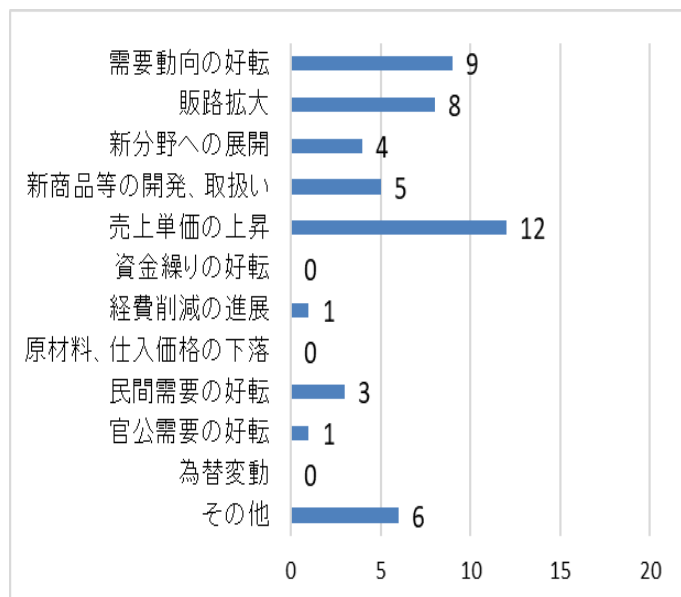
・業種別にみると、製造業、宿泊業・飲食サービス業で上昇、その他の業種で横ばい、建設業、卸売業・小売業で減少となった。上昇幅が一番大きかったのは、製造業で 16.9 ポイントの上昇となった。一方で、減少幅が一番大きかったのは、卸売業・小売業で 1.7 ポイントの減少となった。

・先行きは、建設業、卸売業・小売業で上昇、その他の業種で横ばい、製造業、宿泊業・飲食サービス業で減少の見通し

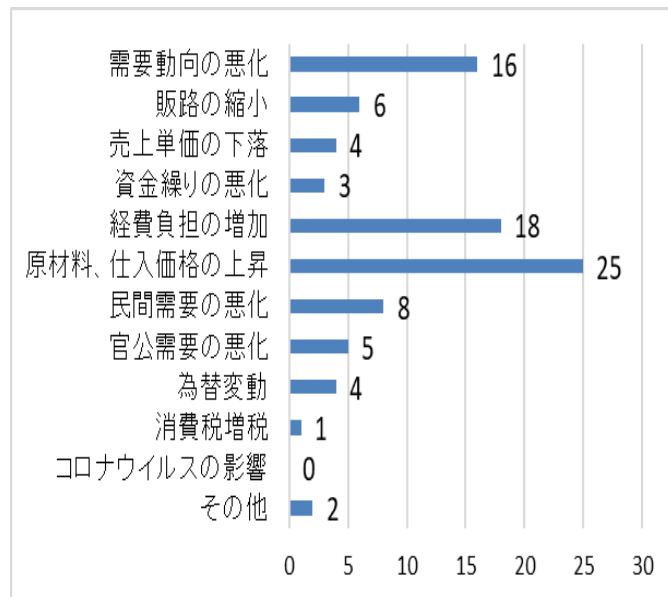
(3) 業種別の景況判断の主な理由（令和6年7月～令和6年9月期）

①前年同期比

【好転した理由】

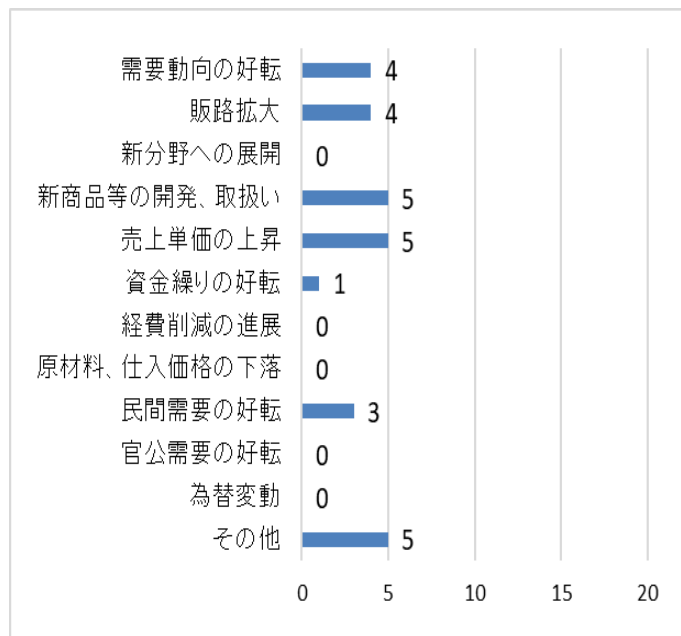


【悪化した理由】

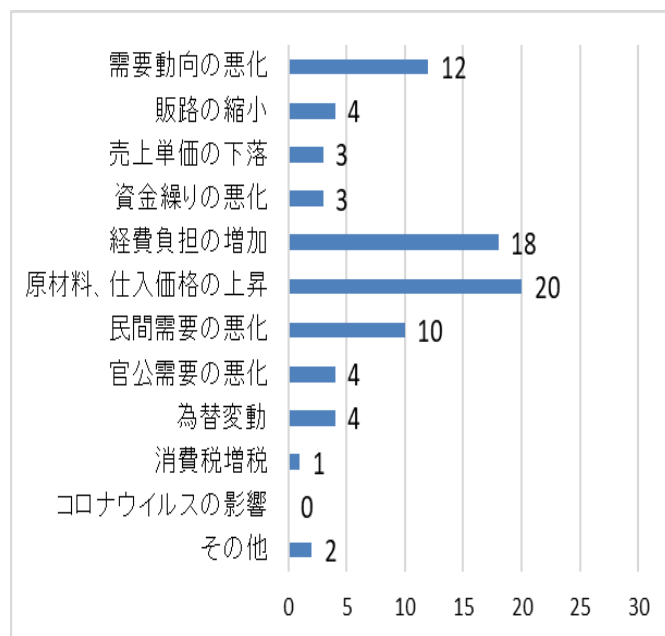


②来期の見通し

【好転を予測する理由】



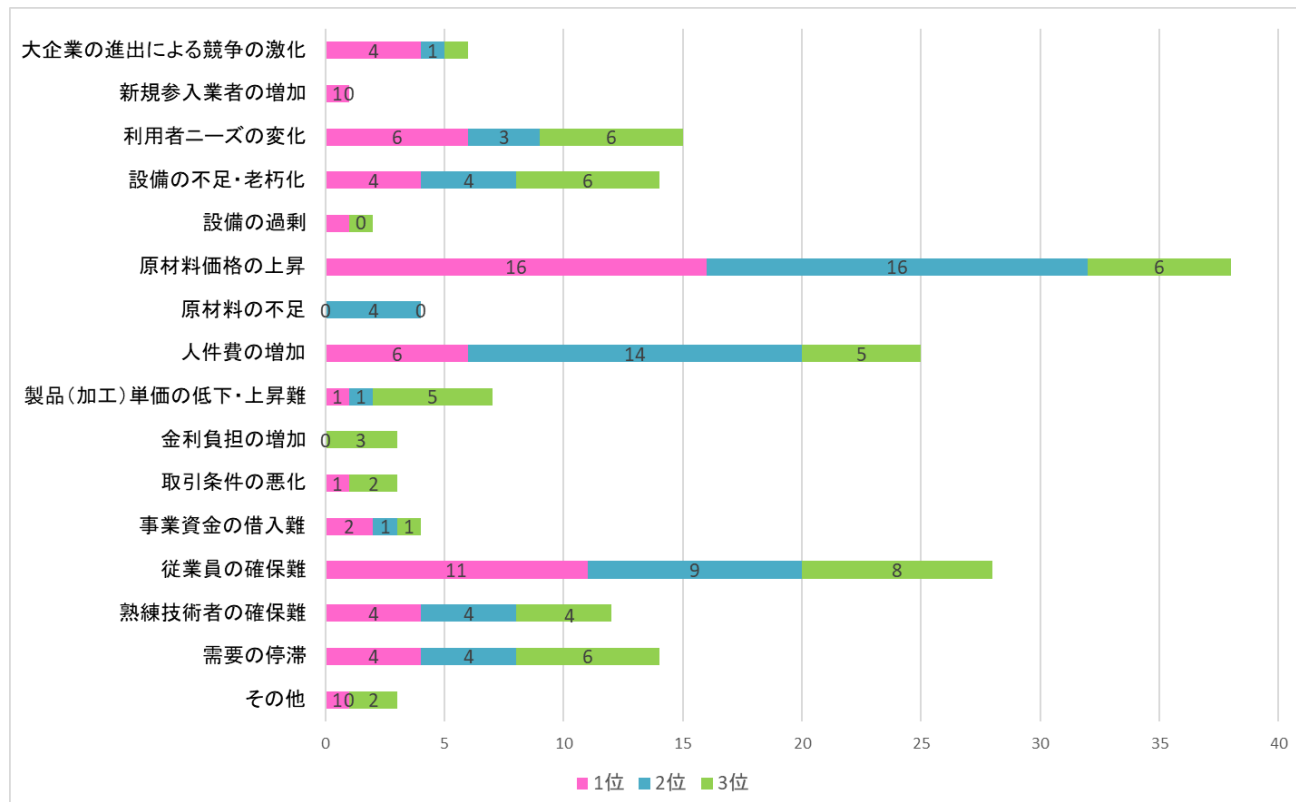
【悪化を予測する理由】



(4) 現在直面している経営上の問題点（令和6年7月～令和6年9月期）

※重要度の高いもの上位3つまで選択可

	1位	2位	3位
大企業の進出による競争の激化	4	1	1
新規参入業者の増加	1	0	0
利用者ニーズの変化	6	3	6
設備の不足・老朽化	4	4	6
設備の過剰	1	0	1
原材料価格の上昇	16	16	6
原材料の不足	0	4	0
人件費の増加	6	14	5
製品（加工）単価の低下・上昇難	1	1	5
金利負担の増加	0	0	3
取引条件の悪化	1	0	2
事業資金の借入難	2	1	1
従業員の確保難	11	9	8
熟練技術者の確保難	4	4	4
需要の停滞	4	4	6
その他	1	0	2



(5) 調査結果の詳細

【前年同期比（企業数）】

業種	売上高			採算			来店者数（利用者数）			従業員数			業況			資金繰り		
	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	不足	不変	過剰	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
【全業種】	21	22	23	8	34	24	12	33	15	18	46	2	9	37	20	2	51	13
製造業	5	3	8	1	8	7	2	9	1	4	11	1	3	7	6	1	12	3
建設業	3	4	4	2	5	4	1	7	2	2	8	1	1	6	4	0	7	4
卸売業・小売業	6	10	8	2	12	10	5	11	7	7	17	0	2	14	8	1	17	6
宿泊・飲食サービス業	4	1	0	2	3	0	3	1	1	4	1	0	2	3	0	0	5	0
その他	3	4	3	1	6	3	1	5	4	1	9	0	1	7	2	0	10	0

【先行き（企業数）】

業種	売上高			採算			来店者数（利用者数）			従業員数			業況			資金繰り		
	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	不足	不変	過剰	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
【全業種】	15	30	20	8	37	21	11	30	19	19	45	2	8	39	19	3	51	12
製造業	2	7	7	0	8	8	1	7	4	4	10	2	1	7	8	0	12	4
建設業	3	7	1	3	7	1	2	7	1	4	7	0	3	7	1	2	8	1
卸売業・小売業	7	6	10	3	11	10	5	8	10	6	18	0	3	11	10	1	17	6
宿泊・飲食サービス業	1	3	1	1	4	0	1	2	2	4	1	0	0	5	0	0	4	1
その他	2	7	1	1	7	2	2	6	2	1	9	0	1	9	0	0	10	0

【前年同期比（D I）】

業種	売上高	採算	来店者数（利用者数）	従業員数	業況	資金繰り
【全業種】	48.5	37.9	43.2	62.2	41.7	41.7
製造業	40.7	31.3	40.7	59.4	40.7	43.8
建設業	45.5	41.0	40.9	54.6	36.4	31.8
卸売業・小売業	45.9	33.3	43.7	64.6	37.5	39.6
宿泊・飲食サービス業	90.0	70.0	70.0	90.0	70.0	50.0
その他	50.0	40.0	35.0	55.0	45.0	50.0

【先行き（D I）】

業種	売上高	採算	来店者数（利用者数）	従業員数	業況	資金繰り
【全業種】	45.5	40.2	39.5	62.9	41.7	43.2
製造業	34.4	25.0	28.2	56.3	28.2	37.5
建設業	59.1	59.1	50.0	68.2	59.1	54.6
卸売業・小売業	41.7	35.4	37.5	62.5	35.4	39.6
宿泊・飲食サービス業	50.0	60.0	40.0	90.0	50.0	40.0
その他	55.0	45.0	50.0	55.0	55.0	50.0